

119. アジア太平洋水サミットテクニカルワークショップに参加

研修センター所長 藤本裕之

1. アジア太平洋水サミット

タイ・チェンマイと聞いて、「ああ、あのタマモトさんの・・・」と思われる方は、かなりの年齢であろうかと推察します。タイの古都であり、第2の都市のチェンマイで、第2回アジア太平洋水サミット（APWS）が5月19日、20日の2日に渡り開催されました。こちらの会議は、招待者のみとなっていますので、一般人である私はもちろん参加できません。関連イベントとして、テクニカルワークショップ（発表会＋討論会）と展示会が開催されましたので、このテクニカルワークショップに参加しました。

水サミットについては日本水フォーラムのホームページで知ることが出来ますし、新聞等でも一部報道されていましたので、ご存知の方もおられるかと思えます。タイのインラック首相を始め、ブルネイの国王、フィジー、グルジア、タジキスタンの大統領、ラオス、バングラディシュの首相など、10の国の国家元首、30以上の国の代表団など、300名以上が出席されたとのことでした（写真1）。



写真1 サミット首脳集合写真（中央右がインラック首相）：日本水フォーラムHPより

日本からは、アジア太平洋水フォーラムの会長を務めている森元首相が参加されました。タイでは一昨年大洪水がありましたので、水供給と衛生の問題にあわせて災害リスクの低減が大きなテーマとなりました。サミットの最後には、「チェンマイ宣言」が発表され、水供給と衛生の問題を国家政策における優先事項とし、災害リスクの低減を2015年以降のポスト・ミレニアム開発目標に組み込んでいくことを推進する、こととされました。

2. テクニカルワークショップ

私が参加したのは、関連イベントのテクニカルワークショップです。会場は、水サミットと同じく、チェンマイ郊外に建設されたばかりの「チェンマイ国際会議展示場」です。国王（ラマ9世）の84歳の誕生日を記念して最近建設された、という施設で、インラック首相がチェンマイ北部の出身ということもあり、当地に建設されたとのこと。タイでは、4月が最も暑く、有名な「水かけ祭り」は4月中旬に行われます。チェンマイはタイ北部に位置しているため、少しは涼しいはずなのですが、気温は35度。会場内部は東南アジア独特の大サービスで、冷房が効きすぎるほど効いたため、非常に寒く、風邪を心配するほどでした。

テクニカルワークショップは、16日～18日に行われ、日本水フォーラム、日本サニテーションコンソーシアム（JSC）、アジア河川流域機関ネットワークなどの日本関連機関や、アジア開発銀行（ADB）、ユネスコなどの国際機関、チェンマイ大学、タイ灌漑排水局、首都圏水道公社などのタイの機関が主催していました。私が参加したのでは、JSC主催のワークショップで、「持続可能な衛生管理・運営を達成するには何が必要か」と題して、日本、ベトナム、タイ、マレーシア、ADBからの出席者による発表とパネルディスカッションが行われました。日本からは、東京大学滝沢教授（モデレーター）、国土交通省植松事業調整官、JSC顧問の橋本氏、横浜市小原課長、JS藤本が参加しました。海外メンバーは、タイ環境省のシマチャヤ事務次官代理、ベトナム建設省のチー上下水道部次長、マレーシア水公社イズマイル下水道部長、ADBボルソン下水道事業専門家です。写真2、3にパネルディスカッションの様子を示しました。



写真2 パネルディスカッション1



写真3 パネルディスカッション2

昨年、タイ下水道公社の職員研修を埼玉県と共同で実施したのですが、その際の研修員の1人が上司と共に聴講に来てくれました。また、マレーシアのイズマイル氏は、東京都の柳氏、元北九州市の小野氏と親しい（両氏がJICA専門家としてマレーシアに赴任中のカウンターパート）、またJICA集団研修で日本に来たこともある、ということで、地道な人材交流の重要性を今更ながらですが、感じました。

3. 展示会

同じ会場で、14日～20日に展示会が行われました。日本、タイ、韓国、中国、国際機関が主な出展者です。残念ながら日本企業の参加はありませんでした。特に目立ったのが韓国で、展示場の中心を広々と占拠し（写真4）、舞台では韓国文化ショーを行う、という力の入れようです。私が会場に行った時には、地元の小中学生が大挙して入場しており、さながら下水道展のパブリックスペースの様相を呈していました。全体に企業の参加は少なく、政府関係機関などの公的機関の出展が目立ちました。JSCもブースを出しており（写真5）、JSのパンフレットを置いてもらったのですが、100部が2日で完売（無料ですが）という盛況だった、ということでした。



写真4 展示会の韓国パビリオン

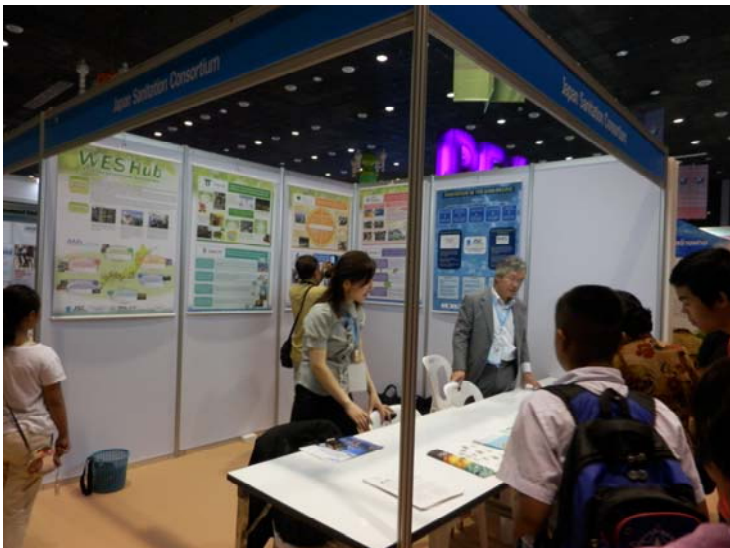


写真5 JSCブース

4. チェンマイの風景

今回の出張は、2泊4日（16日朝～19日朝）という強行軍でしたので、チェンマイの風景を楽しむという余裕はなかったのですが、帰り間に少しだけ街中を散策しました。かつての城壁に囲まれた市内中心部には寺院が多数あり、角を曲がると寺院、その向かいにも寺院という様子でした（写真6）。市場には、出始めのドリアンが並んでおり（写真7）、小分けしたのが売っていたので賞味できました。

チェンマイ市内には下水道が整備されているのですが、水路の汚水を下水道に取り込んでおり、各家庭には接続していない状況です。そのため、市内の水路は黒色を呈しており、

かなり汚濁しているという印象でした。また、栄養豊富なため、ホテイアオイが群生しているところもありました（写真8）。水環境改善には、今後も継続的な努力が必要です。



写真6 ワット・チェンマン



写真7 市場のドリアン



写真8 チェンマイ市内の水路